

国際交流基金アジアセンターpresents 「CROSSCUT ASIA」第6弾は「東南アジアの摩訶不思議」に注目 ～ホラー、SF、ロマンスまで、アジアの非・日常、超・現実ワールド～

国際交流基金アジアセンターは、2019年10月28日（月）から11月5日（火）にかけて開催される第32回東京国際映画祭（Tokyo International Film Festival：以下、TIFF）にて、アジア映画特集シリーズ「国際交流基金アジアセンターpresents CROSSCUT ASIA」を実施します。

本事業は、2014年にTIFFの一部門として設立され、今年で6回目を迎えます。「CROSSCUT ASIA#06 ファンタスティック！東南アジア」と称し、国際的に活躍する監督や人気俳優が監督したホラーやスリラー、SF、ファンタジー等、東南アジアの摩訶不思議な世界を多様な視点でとらえた作品を通じて紹介します。

ラインナップには、国際的に活躍しているラヴ・ディアス監督の初の近未来SF作品『停止』（'19製作）、『チョコレート・ファイター』『マッハ!!!!!!』で知られるプラッチャヤー・ピンゲーオ監督がタイに伝承される怪談をモチーフに運命に翻弄される姉妹を描くホラー・ファンタジー・アクション『Sisters』（19）、さらに、シンガポールの気鋭エリック・クー監督プロデュースのホラーシリーズの一篇で、監督としても活躍する人気俳優・斎藤工氏がメガホンを取った『フォークロア：TATAMI』（18）などを揃えています。アジア独特の非・日常、超・現実の不思議ワールドをお届けする本事業にご期待ください。



記

事業名称：国際交流基金アジアセンターpresents「CROSSCUT ASIA#06 ファンタスティック！東南アジア」

主催：国際交流基金アジアセンター、東京国際映画祭

【第32回東京国際映画祭 開催概要】

開催期間：2019年10月28日（月）から11月5日（火）まで

会場：六本木ヒルズ、EXシアター六本木ほか

公式サイト：<https://2019.tiff-jp.net/ja/>

【CROSSCUT ASIA 過去の実施内容】

本部門では、アジアの国、監督、テーマなど、様々な切り口でアジア映画の特集上映を行っています。1～3回目はタイ、フィリピン、インドネシアと東南アジアの各国を特集。第4回は「ネクスト！東南アジア」と題して巨匠と呼ばれる東南アジアの名だたる監督たちが、自国の若手監督の作品を推薦する次世代を特集。去年は、東南アジアの音楽をテーマに、フィリピンのラップ、タイのイサーン・バンド音楽、カンボジアの歌謡曲など様々なジャンルの作品を紹介しました。

【国際交流基金アジアセンター（The Japan Foundation Asia Center）】<http://jfac.jp/>

独立行政法人国際交流基金は、全世界を対象に総合的に国際文化交流事業を実施する日本で唯一の専門機関です。アジアセンターは2014年4月に設置され、ASEAN諸国を中心としたアジアの人々との双方向の交流事業を実施・支援しています。日本語教育、芸術・文化、スポーツ、市民交流、知的交流等さまざまな分野での交流や協働を通して、アジアとともに生きる隣人としての共感や共生の意識を育むことを目指しています。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp